160号
9月議会定例会号

銳意
さらなる進化をめざして

あなたと議会を結ぶ情報誌 議会だより

https://www.town.kanegasaki.iwate.jp/gikai/

かねがさき

住民目線に立って
ありのままに
わかりやすく
議員の力で
スピード発行



特別企画

宣言から30年 平和国際交流の町 金ケ崎

すべては町民の幸せのために 令和7年度決算を認定

女子ちゃんシリーズ ファミリー 27

2026
令和8年10月15日発行
岩手県金ケ崎町議会

平和国際交流の町 金ケ崎

金ケ崎町の三つの宣言

金ケ崎町には、まちづくりの理念を示す三つの町宣言があります。

- 生涯教育の町宣言（昭和54年）
- 平和国際交流の町宣言（平成８年）
- 田園環境保全の町宣言（平成11年）

世界平和記念日に合わせ

宣言から30年



諸外国との国際交流を通じて
真の平和実現を推進

金ケ崎町は、11月11日の「世界平和記念日」に合わせ、平成８（１９９６）年11月11日に「平和国際交流の町」を宣言しました。その内容は、「諸外国との国際交流を通じてお互いの信頼関係を深めることこそ、核兵器の廃絶と真の平和実現を推進する」としています。この宣言は、平成７年６月の議会定例会で、非核自治体宣言を求める陳情を採択したことを受けて、真の平和実現には、非核はもちろん、国の境を越えた交流こそが重要との考えに立っての宣言です。

平和国際交流の町宣言

我が国は、世界唯一の核被爆国として再び広島、長崎の惨禍を繰り返してはならないと訴えつつ、世界平和の実現に向けて国策を展開しており、金ケ崎町においても平和友好の願いをこめ、外国との姉妹友好都市締結をはじめとする国際親善活動を積極的に推進しているところである。

しかしながら、地球上には今なお戦火の絶えない地域があり、核兵器の保有も依然として続けられ、更に核実験中止の国際条約も万全とは言えず、国家間の相互信頼と人類の生存に大きな脅威と危機をもたらしている。

相互依存関係の深まった現在の国際社会においては、地方公共団体、企業や諸団体、更には個々人が行う諸外国との交流は、政府が展開する外交政策と補完関係にあり、究極的に我が国の平和と繁栄を維持していく基礎を形成するものと信ずる。

金ケ崎町は、日本国憲法に基づき、人類が静穏で安全な環境のもとに、人間としての基本的権利と豊かな生活を追求できるよう、諸外国との国際交流を通じて、核兵器の廃絶と真の平和実現を推進するものとし、ここに「平和国際交流の町」であることを宣言する。

平成八年十一月十一日

金ケ崎町

語り伝えたい

金ケ崎の空襲

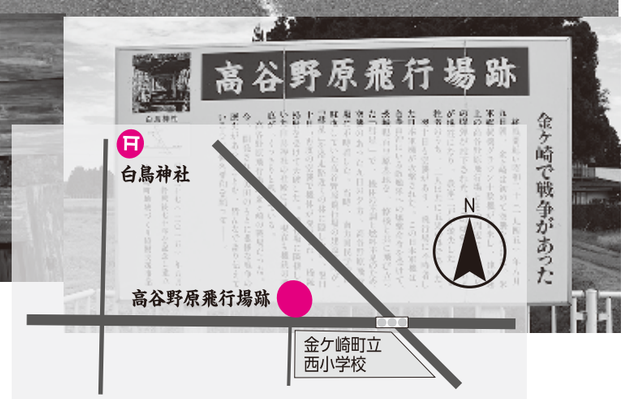
終戦間際の昭和20（１９４５）年８月９日朝、金ケ崎は初めて空襲を受けた。米軍艦載機グラマンが十数機飛来し、建設途上の高谷野原飛行場と、その周辺に10発ほどの爆弾が投下された。この爆弾で町民５人が犠牲になり、農家２戸が焼失した。犠牲者の内２人は共に５児の母であった。

翌10日も空襲があり飛行場に不時着した日本軍機が攻撃された。この飛行機は金華山沖にいる敵艦隊への爆撃命令を受けて、茨城県百里原基地を僚機と共に飛び立った「彗星」で機体の不調と燃料不足のため空襲のあった９日の夕方高谷野原飛行場に不時着した。当時、南方国民学校に駐屯していた飛行場の建設部隊が「彗星」を滑走路近くの林に隠したが、翌日10日の再度の空襲で機体が発見されグラマンの機銃掃射を受けて大破した。飛行場に近い白鳥神社の社殿には、現在も機銃の弾痕がくっきりのこっている。高谷野原飛行場が金ケ崎の戦場だった。今、開発された美田のもとに悲惨な戦争の歴史があったことを皆んなで語り伝えていこう。恒久平和を願って――。

出典「語り伝えよう　金ケ崎の空襲」語る会レジメ・PR用パンフレット



白鳥神社社殿に残るグラマンの弾痕（２つの穴）



真っ直ぐな道が飛行場（滑走路）だった事を物語っています

議会だより
かねがさき
No.160

目　次

表紙
双子ちゃんシリーズ
ファミリー
2~5
特別企画
宣言から30年
平和国際交流の町 金ケ崎
6~7
９月議会定例会
議案審議
8~11
決算審議
議員のQ&A
12~23
一般質問
24~25
議会ほっとミーティング
請願のゆくえ
26
常任委員会の動き
27
ちょっと一服
議会クロスワードパズル
28
ぴかっとひかる人
シリーズ90
表紙の写真によせて
編集後記



議会トピックス①　**見よ５円玉**　6月17日、アテルイの里・胆江工業クラブの総会に出席しました。「これからの岩手は農業も大事だが、工業の振興も急務だ」とは千田正元知事のことば。なるほど5円玉を見れば、稲穂は農業、下の波は漁業、そして穴の部分の歯車は工業を表しています。工業クラブの皆さんとの「ゴエン」を大切にしたいものです。(雅)

議会トピックス②　**頼みましたぞ！**　6月21日、金ケ崎分署を会場として第56回金ケ崎町消防競技大会が朝からの大雨の中行われました。チョットやる気がそがれそうな大雨でしたが、選手の皆さんはこの程度の雨なぞモノともせず日ごろの練習の成果をいかんなく発揮されてました。頼みますぞ金ケ崎町消防団！（権）

国の境を越えた交流こそ

アメリカ　アマースト町

あゆみ

1988年、アマースト町出身の英語指導助手が赴任した縁から、中学生の海外研修をアマースト町で行いました。これをきっかけに、教育交流に係る協定書を取り交わし、1993年8月18日に姉妹都市提携を行いました。

これから

元々、相互訪問を基本としてきましたが、近年は諸事情により、金ケ崎町側からの派遣にとどまっています。コロナ禍により一時派遣を中断していましたが、令和6年度から姉妹都市締結30周年式典に出席するとともに再開しましたので、今後はアマースト町からの受け入れも積極的に行うことが望まれます。



こんな町　アマースト町は、雄大なパイオニア平原に恵まれ、ニューイングランドの良質な伝統と国際的な雰囲気を持ち合わせた、文化の香り高い町です。また、マサチューセッツ州立大学をはじめとする3つの大学や、数々の教育機関を持った「教育の町」でもあります。

「少年よ、大志を抱け」の名言を残したウィリアム・クラーク博士、今日アメリカ最大の女流詩人といわれるエミリィ・ディキンスンらの著名人を輩出し、現在も多様な能力や高度な教養を持つ若いエネルギーに溢れた町です。


中学生海外研修　ニューヨーク　H26

中国　長春市



締結35周年を記念して訪中　R6

あゆみ

中国から漢方の特性を活かした健康づくりを学び、「金ケ崎型漢方リゾート」によるまちづくりを進めるため、中国の都市との交流を模索する中、長春市職員との出会いがありました。これを機に1989年2月1日、友好交流促進会議議定書を取り交わしました。

これから

日本に近いこともあり、3つの友好姉妹都市の中では一番活発な交流をしてきた経緯があります。

日中関係がギクシャクしている今だからこそ、交流を深めていくことが重要ではないでしょうか。

こんな町　長春市は吉林省の省都で、かつては満州国の首都「新京」と呼ばれていました。中国では「車の町」「映画の町」「森の町」として知られ、国内自動車シェア24%(当時)の長春第一自動車、映画の名作「ラストエンペラー」を制作した長春映画制作所などが有名です。

また、25の大学と100以上の研究機構を有した「文教の町」としての一面もあり、発展著しい都市の一つとして、世界の注目を集めています。

ドイツ　ライネフェルデ・ヴォルビス市

あゆみ

2000年10月、城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の調査・研究を指導いただいていた大学教授が、ライネフェルデ市長へ当町の歴史的な町並みについて紹介したところ、当町との積極的な交流を進めたいとの意向が示されました。2002年9月、ライネフェルデ誕生775年記念祭に招待されたことを機に、公式訪問団が同市を訪問し、姉妹都市提携を行いました。

これから

ライネフェルデ・ヴォルビス市の近郊には、金ケ崎町出身者も居住されていると聞いています。今回の訪問を機に、さらなる相互交流が深まることを期待します。



こんな町　ドイツのほぼ中央部にあるチューリンゲン州の北に位置し、中世の面影が残る古い町並みが美しい町です。1960年代に繊維コンビナートを中心とする産業都市として発展するとともに、大規模に建設され老朽化した当時のパネル住宅を大胆に再生し「未来工業都市」として生まれ変わりました。2004年3月16日に2市7村が合併し、ライネフェルデ・ヴォルビス市と名称を変更しました。


日独スコップ三味線共演　町民お花見会　H29

ドイツ見聞録



遠いまちが身近に

…14時間
… 3時間

～姉妹都市ライネフェルデ・ヴォルビス市を訪ねて～



訪問団副団長
議会代表　阿部 典子

9月20日から26日までのライネフェルデ・ヴォルビス市の公式訪問は、令和4年度に市公式訪問団が来日した際に、州園芸博覧会への招待を受けたことによるものです。今回、訪問団の一員として議会からも参加してきましたので、感じたことの一端を紹介したいと思います。

滞在中は天候に恵まれ、州園芸博覧会をはじめ、「まちづくり」の取り組みを視察してきました。博覧会は閉会後のまちづくりを見据えた計画的投資であること、歴史的建造物については保存するだけではなく再生・活用するなど、地域の魅力を残しながら次世代につなぐ取り組みを進めていることは大変参考になりました。私たちの「まちづくり」にも学ぶところがありました。

また、市庁舎で行われた式典では新町長の就任を機に、今後の交流事業に関する協定書への署名が市長と交わされました。14名の議員が出席していましたが、直接話ができず残念。後日お聞きしたところ、任期は5年、報酬は月20,000円程度（皆さん仕事を持っている）一般質問は無く、議員が何より住民の声を聞くことを大切にしていることが印象的でした。

今回は、金ケ崎町国際交流協会関係者と共に訪問し、関係者との交流に加え文化や暮らしにも触れ、互いの地域への理解を深める貴重な機会となりました。

議会トピックス④　**大事なダンポさま**　6月24日、奥州警察署金ケ崎交番連絡協議会総会がありました。建設工事がスタートした新しい金ケ崎交番（予防医学協会東隣り）についても話題に。安全安心な暮らしは町民みんなの願い。これに伴い、現在の永岡駐在所は統合されることになります。産業の発展著しい金ケ崎、若い「ダンポさま」の活躍に期待。(雅)

議会トピックス③　**蒔かぬ種は**　6月24日、岩手ふるさと農業協同組合の通常総会が胆沢文化創造センターで行われました。「土を耕し、種をまき、大事に育て、未来へつなぐ」をコンセプトに「世界一安心な産地」を目指すJA岩手ふるさと。1998年に合併して早や28年。昔から「蒔かぬ種は生えぬ」とか。何事も努力しないと成果は出ませんね。(雅)

9月議会　定例会のあらまし

９月議会定例会は、９月３日から16日までの14日間の会期で開かれました。

一般質問には11人が登壇し、幼稚園統廃合に伴う課題や災害対応、クマ対策、農業振興などについて町の考えをただしました。

町提出議案は、教育委員、固定資産評価審査委員任命の人事案件、条例改正、財産の取得、補正予算、決算認定など29件で、審議結果、全て原案のとおり決しました。

令和７年度一般会計、特別会計等歳入歳出決算については、決算審査特別委員会を設置し、集中審議しました。（関連記事は８から11ページ）



どろんこ大好き　汚れてもへいき！（たんぽぽ保育園）

町長公約 保育料完全無償化へ

～満３歳未満児の保育料無償化について～

子育て世帯の負担軽減のために、現在有償の０歳児から３歳未満児の保育料を無償とするものです。

◆**対　象**…約80人

町内在住で０歳児から３歳未満児の第１子を保育所等に預けている保護者

※いわて子育て応援補助により第２子以降の保育料は無償

◆**実施時期**…令和８年10月分から

◆**対象施設**

・認可保育所等

・認定こども園、小規模保育所

・企業主導型保育施設

安心して子育てできる町に



佐藤　美桜（みお）さん
（北部地区）

第１子から保育料が無償になることは、子育てを始めた家庭にとって大きな安心につながると思います。また、第２子以降を考える上での経済的な不安も軽減されると感じます。

子どもの成長とともに必要な支援は変化するため、今後も切れ目のない子育て支援を期待します。

六原駅周辺整備事業完了

総事業費　1億9414万円

六原駅利用者の利便性向上、地域住民の住環境の維持ならびに国道４号沿線や六原駅周辺の産業振興の実現を目的とし、駐車場やアクセス道路等の整備工事を令和２年度から進めてきましたが、令和８年10月に工事が完了することになりました。



今後の地域のにぎわい　産業振興に期待 !!

議会トピックス⑤　**あらためて感謝**　6月25日、金ケ崎ライオンズクラブ第56回年次大会が開かれました。”ウイサーブ我々は奉仕する”をその精神に、様々な活動をされている会員の皆さんにあらためて感謝です。会員増と会の発展を祈念します。(輝)

人事案件２件に同意

【教育委員】



鈴木（すずき）　康生（こうせい）さん
（新任）

任期：令和8年10月1日～
令和12年9月30日（４年）

【固定資産評価審査委員】



後藤（ごとう）　清恒（せいこう）さん
（再任）

任期：令和8年9月16日～
令和11年9月15日（3年）

農業機械導入に補助金

補正予算



農業者の営農継続を後押し

町では、物価高騰に伴い、厳しい経営状態が続いている農業者の離農を防ぐことを目的に、町内の農業者が農業機械を購入する際に要する経費について補助を行います。

対象は、町内に住所を有し、令和5年から令和7年までのいずれかの年に農産物販売額が15万円以上ある方、または認定新規就農者です。

補助対象要件は、

①動力を有する農業機械や、それに接続して使用する機械。

②農産物の生産または受託する農作業に使用する農業機械の購入。

③1件当たり購入費10万円以上の機械。

④中古機械も対象。

⑤令和9年2月末日までに購入する農業機械にかかる費用の支払い及び納品が完了のこと。

⑥国や県及び他団体等の補助を受けていない。

⑦本事業で導入する農業機械の耐用年数又は、3年間のいずれか長い方の期間は農産物の生産または農作業の受託を継続する。

⑧申請年度における交付申請は、1経営体1件まで。

⑨町税に滞納がない方。

が対象となります。

補助額は、購入費の3分の1以内で、上限は30万円です。

物価高騰が続く中、農業経営の継続を支える町独自の支援策として、幅広い農業者が活用しやすい制度です。

本事業補助金の申請は、令和８年10月１日から10月15日を受付期間としております。

胆沢川橋梁補修に

１億100万円

金ケ崎町橋梁長寿命化計画に基づき、計画的な施設の長寿命化を図ることを目的とし、橋梁補修工事を実施するものです。





早期の完了で　安心へ

財産の取得

スクールバスを更新

855万円

通学バス車両の老朽化に伴い車両の更新を行うものです。

通行区域：和光線

※現在、スクールバスは６台・６路線で運行しています。

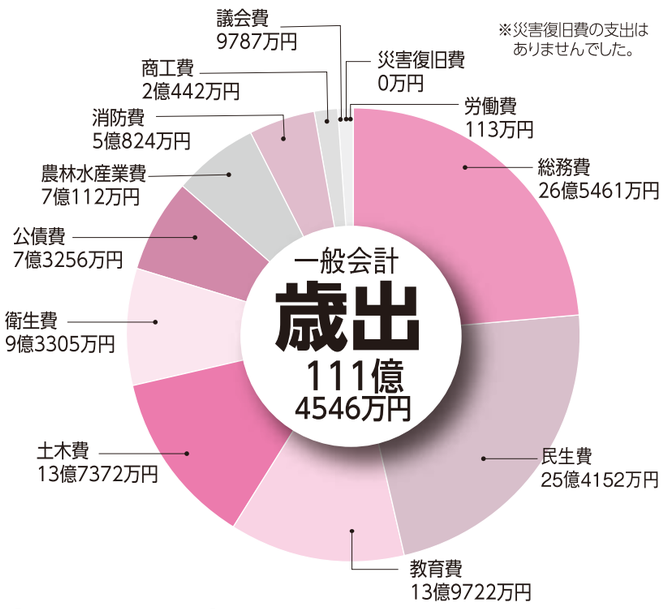


座席数は29席で　少し小ぶりになります

議会トピックス⑥　**世界遺産をいかした町づくり**　6月26日、県南4町（平泉・住田・西和賀・金ケ崎）議員研修会が平泉町で開催されました。平泉は中尊寺をはじめとする遺産。金ケ崎は初代清衡の生誕地。西和賀は秋田と結ぶ秀衡街道。住田では経文が発見されました。平安時代からの結びつきの深い遺産での町づくりを提案されました。(良)

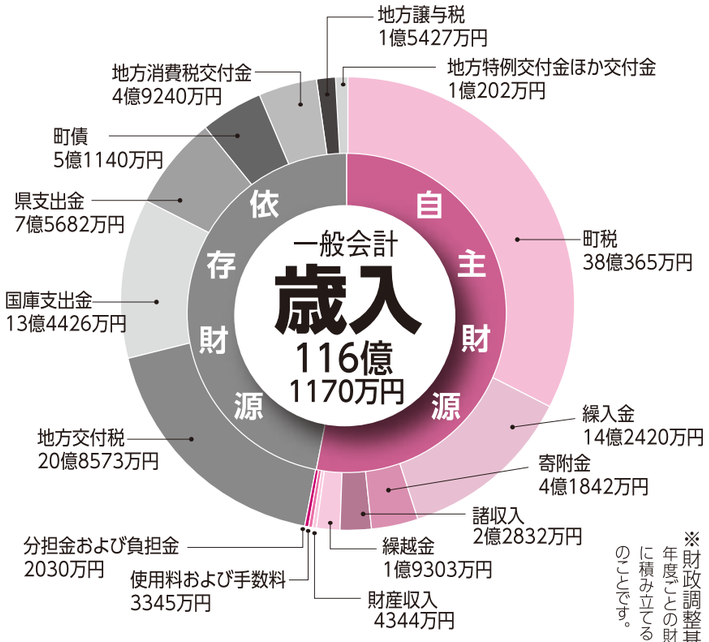
歳出総額 145.9 億円の決算を認定

令和7年度　一般会計決算



【歳出増減のポイント】

- ▶総　務　費 ➡ 新町誕生70周年記念事業などの増、基金積立金の減（前年比△2.8%、7590万円↘）
- ▶民　生　費 ➡ 福祉センター建設補助金、児童手当、物価高対応子育て応援手当支給事業などの増（前年比9.2%、2億1514万円↗）
- ▶教　育　費 ➡ 社会教育施設の大規模工事、教職員用パソコン・児童生徒用タブレット購入などの増（前年比11.0%、1億3857万円↗）
- ▶土　木　費 ➡ 町道北花沢・中の町線、公共下水道事業負担金などの減（前年比△4.8%、6919万円↘）
- ▶衛　生　費 ➡ 新型コロナワクチン接種委託料などの減（前年比△2.7%、2595万円↘）



※財政調整基金とは　地方自治体が年度ごとの財源の不均衡を調整する為に積み立てる、いわゆる「自治体の貯金」のことです。

【歳入増減のポイント】

- ▶町　　税 ➡ 個人町民税、固定資産税の増（前年比5.3%、1億9196万円↗）
- ▶寄　附　金 ➡ ふるさと応援寄附金の増（前年比38.9%、1億1718万円↗）
- ▶地方交付税 ➡ 普通交付税、特別交付税の増（前年比1.6%、3303万円↗）
- ▶国庫支出金 ➡ 児童手当交付金、新しい地方経済・生活環境創生交付金などの増（前年比6.4%、8140万円↗）

令和７年度 決算のあらまし

一般会計の決算額は、歳入116億1170万円に対し、歳出111億4546万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は4億2530万円となりました。

地方自治法の規定により、実質収支額のうち2億2000万円は財政調整基金に繰入れとなります。

将来に備え※財政調整基金へ 2億2000万円


阿部 一之 副委員長


阿部 典子 委員長

監査委員の目


代表監査委員 金田正幸


監査委員 千田眞一

経済性及び効率性を重視した財政運営の発揮を

1．物価高騰による経営リスクを低減するため、契約事務に当たっては、契約内容毎に物価高騰の影響を精査し、その情報を担当者間で共有し最小の経費で最大の効果が発揮されるよう努める必要がある。

2．競争入札に付すべき契約を随意契約で行う場合は、法令に反しないよう適用条項を充足する客観的理由を明確にして行う必要がある。

3．随意契約に係る適用条項等の誤りが散見されることから、事務担当者及び役席者は、チェック機能を発揮し事務リスクを軽減すること。

4．町税等の未収金については、延滞発生後、早期に面談及び財産の実態把握等により保全措置を講じるなど、徴収率の向上に努める必要がある。

5．任意団体の収入及び繰越金の多くは、補助金（税金）の割合が高いことから、予算の決定及び完了検査に当たっては、証拠書類を検証し不適切な支出については、減額措置等を講じるなど厳正に行う必要がある。

各会計の決算状況と採決のようす

区分		歳入	歳出	採決
一般会計		116億1170万円	111億4546万円	全員賛成
特別会計	国民健康保険	12億9741万円	12億7672万円	全員賛成
	訪問看護ステーション事業	2874万円	2770万円	全員賛成
	介護保険	14億8785万円	14億7204万円	全員賛成
	国民健康保険診療施設	4億5720万円	4億3204万円	全員賛成
	後期高齢者医療	2億738万円	2億623万円	全員賛成
	岩手中部工業団地内工業用地整備	3617万円	3617万円	全員賛成
	計	151億2645万円	145億9636万円	

※１万円未満が四捨五入のため、合計が合わない場合があります。
※歳出総額145.9億円は一般会計と６特別会計の合計です。水道・下水道の企業会計は９ページの表のとおりです。



区分		収入	支出	採決
企業会計 水道事業	収益的収支（税抜）	3億9523万円	3億4411万円	全員賛成
	資本的収支（税込）	558万円	1億5070万円	
企業会計 下水道事業	収益的収支（税抜）	9億325万円	7億5747万円	全員賛成
	資本的収支（税込）	2億2037万円	7億9447万円	

※資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出（損益勘定留保資金）」や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。

議会トピックス⑦ どこまで進んでいるの？　7月1日、岩手中部工業団地北側エリアの企業誘致について、誘致に向けた取り組みや企業の動き、今後の見通しについて担当課から説明を受け、地域の活性化や雇用につながる企業誘致について確認しました。（由）

議会トピックス⑧ 緊張感半端なく！　7月２日、国道４号金ケ崎区間４車線化事業促進に係る要望会に同行する機会を頂きました。「挨拶あります」と急に言われ、新幹線で準備。案の定、国交省・財務省など行く先々で挨拶、緊張の連続でした。議員会館では広報研修で来庁した元宮古市議の国会議員に再会。有意義な一日でした。（典）



すべては町民の幸せのために



適正な予算設定に向けて

Q　除雪対策費は4億1807万円の当初予算から9331万円を減額補正し、3420万円の不用額を残す結果となった。1億円を超える予算と決算のズレは適正とは思えない。この決算を受け、次年度の除雪対策予算の考え方は。



高橋　藤宗　委員

A　除雪対策費は大きな予算を付けず、足りなくなったら補正予算で対応する。そのために財政調整基金があり、不測の事態に賄う、という考え方でやっていく。いただいた税金は、きっちり住民のために使うことが正しいことだと考えている。

町立幼稚園の閉園

Q　教育行政に係る事項について「総合教育会議」が設置されている。今年度、六原幼稚園閉園が提起されたが、いち幼稚園の閉園にとどまらず、町の幼児教育のあり方にも議論がなされている。今、この会議を開催し広い視点から提案するべきである。



千葉　良作　委員

A　町長と教育委員によって構成されている会議で、教育行政について審議する場である。年間の開催回数や内容は決まっていないが、現在ほかに審議する案件もあることから、10月頃には開催したいと考えており、六原幼稚園の問題も討議されると考えている。

出生紹介に両親名を

Q　「町広報の戸籍の窓」お誕生日おめでとう欄における赤ちゃんの保護者名は、了解を得て胆江日日新聞のように両親名を記載するべき、という意見が町民から寄せられた。男女平等の観点からも実現するべきである。



阿部　隆一　委員

A　保護者代表として、一人記載している。近隣自治体でも両親名を記載している例はない。スペースに余裕がないので、両親名を記載するのは困難である。保護者一人記載と二人記載が出てくる場合があることも懸念している。

企業版ふるさと応援人材派遣

Q　企業からの寄附には、寄附金の他に、人材を町に派遣して人件費を寄附とみなす人材派遣型もある。企業人材の持つ専門的ノウハウを町の業務に活かすため、この制度を活用すべきではないか。特に、工業団地南エリア開発に活かすべきだ。



佐藤　千幸　委員

A　企業から人材派遣を受ける前提となる町の地域再生計画は、4月で期限切れとなっている。
新計画の国認定は11月以降の見込みである。企業人材の受け入れについては、今後検討していく。

製造品出荷額の東北順位は

Q　令和5年度の製造品出荷額は、目標値を1037億円上回り7537億円であった。東北での順位は何位であったか。工業団地の南エリアに優秀な企業を誘致し、地域の活性化を図るためにも東北の上位を目指して欲しい。



山路　正悟　委員

A　令和5年度は前年度までの5位から3位と順位を上げた。7年度には9061億円まで伸びたが順位は変わらなかった。この驚異的な伸びを見ると、これから先の順位向上はかなり厳しいのではないかと思われる。

軍馬の郷六原資料館

Q　来館者数が298人（前年度801人）と大きく落ち込んだ要因をどのように捉えているか。開館から10年近くになるが、西側2棟はブルーシートで覆ったままであり、経年劣化が避けられない状態である。早期に活用の方向性を出すべきである。



高橋美輝夫　委員

A　資料館周辺で催されてきた地域のイベントがなかったことが、大きく影響したものと分析している。西側2棟については、劣化が激しい場合は解体して骨材の保存をすることも視野に検討していく。





千田 眞一 委員（議選 監査委員）は、監査意見を提出する立場にあるため、委員会での質疑は控えています。

議会トピックス⑩　**まさに雨にも負けず**　7月12日、花巻市は合併20周年（2006年1月1日）を迎え、約550名の招待者を迎え記念式典が開催されました。第２部ではジャーナリストの島沢優子さんによる記念講演も行われました。外は土砂降りの雨、まさに雨にも負けずの式典でした。(輝)

ふるさと納税の評価と現状

Q　ふるさと応援寄附金は令和７年度に２万7759件、約４億1631万円を超え、令和６年度と比較し約１億円以上増加し、令和４年度と比較し約33倍になっている。この評価と、令和８年度の予想値は。



菅原　政憲　委員

A　令和７年度は米不足も影響し、返礼品としてお米の需要が非常に高かった。掲載ページにおいてもお米が目立つように掲載され、多くの方々に選ばれたと考えられる。令和８年度は約３億円を見込んでいる。

医療費と介護給付費に抑制効果

Q　健幸ポイント事業の委託業務の内容と、新聞報道では医療費等の抑制に効果があったと報じられたが、町では医療費や介護給付費の分析などにより事業評価を行った結果、医療費の抑制効果をどのように評価しているか。



榊　秋光　委員

A　健幸ポイント事業は、システム運営等約1200万円、評価業務約600万円を要した。抑制効果は、性別・年代を同条件の参加者と非参加者を比較して算定し、抑制効果が認められた。目標は健康習慣の定着と地域の健康度向上である。

必要な修繕を適切に実施

Q　金ケ崎中学校2階給水管修繕の95万9310円について、具体的な修繕内容と内訳、また財政計画に基づく計画的修繕か、漏水等による突発的修繕か。



原　由美子　委員

A　金ケ崎中学校2階給水管修繕24万2000円のほか、エレベーターのバッテリー交換、剣道場の自動火災報知設備の機器交換を実施した。これらは計画修繕ではなく、必要に応じて予算内で順次修繕したものである。

無給水地区への上水道の敷設

Q　この件は、過去に何度も議論され、深井戸補助で落ち着いた経緯があるが、未だ広域水道利用は見通せていない。今後の維持管理費を考えれば、細野から引き込み、自然流下で町内に配水するよう再検討するべきではないか。



阿部　一之　委員

A　災害時を考えれば、停電となっても上水道は蛇口をひねれば水が出るので意義は大きいと考える。町の広域水道利用もまだまだ先と見込まれるので可能性について検討していく。

森山総合公園駐車場

Q　森山総合公園第２駐車場は、トヨタ自動車東日本に無償譲渡され、その代替駐車場について早期の完成が望まれている。現在の進捗状況は。



平　志乃　委員

A　令和７年度は駐車場整備に係る測量と設計業務を、駐車場整備測量・設計業務委託料として支出している。まだこの段階であるため、完成時期については未定である。

中学校の森山プール利用

Q　中学校による森山総合公園利用における、プールの利用は昨年から始まったが、その状況と評判を確認し、今後の小学校への拡大も検討しているのか。



及川　権一　委員

A　おおむね良好である。特に屋根もあるから、5月から11月まで利用でき、暑い夏でも問題なく利用できた。現在小学校のプールはすべて利用できるので、現在は想定していない。

町外への納税控除額

Q　歳入の個人町民税のうち、所得割額は7億5554万円である。町民が町外にふるさと納税した場合に、所得割額から控除（減額）された税額があると思う。その控除した人数と税額はいくらか。



後藤　紳一　委員

A　令和７年度の個人町民税は、令和６年分の所得を基にして課税している。６年分の所得で、ふるさと納税による控除対象の人数は564人、控除額は1600万円である。

議会トピックス⑨　**大きな誇りと勇気**　7月５日、県消防協会胆江支部消防競技大会が奥州市江刺総合支所駐車場を会場に開催されました。ポンプ車の部11隊、小型ポンプの部11隊、部隊訓練の部6隊が出場。町消防団は小型ポンプの部と部隊訓練の部で見事優勝。町民に大きな誇りと勇気を与えてくれました。(輝)

11議員が高橋文浩町政を質す

一般質問は９月３日から９日にわたって行われました。

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に施策の状況や方針等の説明を求めるものです。議員にとってはもっとも大事な発言の場です。質問事項は事前に執行当局へ通告します。質問の持ち時間は質問と答弁を含めて１人60分です。広報掲載の内容は、質問した議員が自ら原稿を起こしたものです（１人１ページ）。


望ましい避難行動　高橋　藤宗 議員　P19


行政改革・スマートシュリンク政策を　阿部　一之 議員　P13


クマ対策　原　由美子 議員　P20


幼稚園統廃合をめぐる説明に課題　阿部　典子 議員　P14


南エリア(44ha)の進捗状況　佐藤　千幸 議員　P21


団地の側溝整備　阿部　隆一 議員　P15


小学校再編議論を　及川　権一 議員　P22


災害時の受援体制は　平　志乃 議員　P16


閉園を１年延期してみては　後藤　紳一 議員　P23


金ケ崎ブランドの育成　菅原　政憲 議員　P17


大雨災害への対応　榊　秋光 議員　P18

今定例会の傍聴者　28人



【傍聴について】

・事前申し込みは不要です。
・当日、役場４階の議場傍聴者入口で受付します。
・インターネット中継も実施しておりますので、ぜひご利用ください。

傍聴席で水分補給ができます

傍聴席での飲食はご遠慮いただいておりますが、健康管理のため、ふた付き容器（ペットボトル・水筒等）に入れた水またはお茶に限り、水分補給ができます。

町のホームページ▶金ケ崎町議会▶議会映像配信



こちらをクリックすると**議会中継**が見られます。　こちらをクリックすると**会議録**が見られます。

議会トピックス⑪　**非行のない社会へ**　7月18日、「第62回胆江地区”社会を明るくする運動”住民大会」が奥州市江刺総合支所で開催されました。「更生保護ボランティアと共に築く安心・安全な地域社会」と題し盛岡保護観察所長が講話の後実践発表。犯罪や非行のない安全で安心な地域社会の実現に向けて、決意を新たにしました。(輝)

行政改革

スマートシュリンク政策

町長―検討していく

議員の胸の内

既得権益や感情にとらわれることなく、冷静に客観的にまちづくりを議論していくことが大切。



阿部（あべ）　一之（かずゆき） 議員

ひとくちメモ

スマートシュリンク

住民の健康や幸福度を損なわないようにしつつ、インフラや施策を縮小（賢く縮む）する政策

問　田んぼの中の一軒家の所有者や、土砂災害警戒区域内にある家屋の居住者が改築を計画した時、総合計画の居住家屋集積エリアや各集落の住宅密集エリアに誘導する施策を検討したらどうか。

町長　どこかの時点でそのような人口減少地域を対象にそういった施策をすべき時期が来るとは思うが、今はまだ打ち出せていない。

問　公共施設のあり方を考える場合に、ワークショップの手法を用いて住民との対話を進めるべきではないか。

町長　総合計画とは別に、役場の職員だけでなく、住民の方々とのワークショップなどを通じて対話する場があってもいいと考えている。



交通を集約したイメージ

問　総合計画素案のアンケートでは、道路、歩道の整備要望が多いようだが、時代が変化し、現在町道としてそぐわなくなってきている路線、逆に現在農道であっても、町道に格上げすべき路線など、町道の見直しが必要ではないか。

課都市建設長　以前に認定したまま現在まできており、地域的に使われなくなった道路や橋梁も見受けられる。今後の公共施設のあり方の計画を踏まえて考えていく。

問　交通弱者のためにも、町内に商店が存続し続けられる施策が必要ではないか。

課商工観光長　商工会に運営補助し、経営相談や創業支援活動などを行っている。

子どもが自律する教育

問　NPO法人を活用して行政の仕事の一部を担ってもらったらどうか。

町長　NPOのそれぞれに得意な分野があれば、できないということではないと思っている。

問　主体性をもった子どもが育つよう幼稚園教育を進めていくことについてどう考えるか。

教育長　幼稚園や保育園における幼児教育から小学校教育への接続が重要であると考えており、文部科学省が推奨する「幼保小の協働による架け橋期の教育」の考え方の下で取り組みを進めている。

議会トピックス⑫　**努力と技術**　7月19日、「町猟友会事故防止射撃大会」の表彰式並びに懇親会がありました。優勝者は10連覇‼本当におめでとうございます。積み重ねてこられた努力と技術の素晴らしさに心から敬意を表します。これからのさらなるご活躍も楽しみにしています。(輝)

六原幼稚園

統廃合めぐる説明に課題

教育長 ― 反省を踏まえ検討

議員の胸の内

子どもは周りの変化に敏感！
保護者や地域、教育委員会が相互理解を深めて安心を。



阿部（あべ） 典子（のりこ） 議員

問 教育委員会は、六原幼稚園再編計画にあたり、素案の説明会を6月から保護者や地域に行ってきた。

しかし、幼稚園の存続や再考を求める声が多く、十分な理解を得るには至っていない状況である。

更に、時を同じくして開催された議会ほっとミーティングや請願書の提出を受け、現状をどのように受け止めているか。

教育長 これまでの2園と同様に進めてきたつもりだが、昨年度出された要望に関しても十分な回答を示さなかった部分もあり、反省している。今後説明をきちんとしながら再検討すべきところはする。

問 説明資料には、8月には再編計画の推進（案）を決定するとあった。いつ頃を目途に方向性を整理するのか。

教育長 十分な納得を得られない状況で強行することはできない。今後、保護者への説明も含め取り組みながら、早い時期に方向性を示したい。

問 今回の再編計画をめぐっては、様々な課題がある。

①説明の時期が遅い。

②再編計画の見直しは。

教育長 ①十分でなかった部分を反省し、良い方向にすすめる。

②適正な人数下での教育とし、見直しは図っていない。



地域の伝統「鬼剣舞」
つなぐ子どもたち

県道の安全対策

問 県道江刺金ケ崎線の岩手銀行金ケ崎支店前の丁字路交差点付近に電柱があり、道路が狭くなっている。歩行者空間を狭めているため危険である。

電柱移設について今年度、具体化に向けた調整をしていると聞いたが。

町長 以前から要望があったが、令和7年11月、町と街地区自治会連合会が連名で岩手県に要望書を提出。結果、今年度の工事が確定した。

県は、移設工事を令和8年9月に着手、冬前には既存の電力柱を撤去する予定である。

問 工事期間中は、通行規制により脇道利用者が増えることが予想される。関連機関と連携した安全対策は。

都市建設課長 このことは認識している。事前連絡するよう話している。



以前質問し 9年越しに具体化
安全確保前進！

ひとくちメモ

金ケ崎町立幼稚園再編計画

子どもの数が減少していることを踏まえ、平成30年に次のように策定された。

（適正な人数規模）
・1学級当たり25人程度と設定

（異年齢学級の編成基準）
・3歳児と4歳児の合計が8人以下、4歳児と5歳児の合計が16人以下、となった場合

（統廃合の基準）
・出生数等の状況を踏まえ、園児数の増加が見込めない場合、または恒常的に異年齢学級が解消されない見込みの場合、保護者や地域と協議を経て決定・実施する。

議会トピックス⑬ 現場の大切さを思い知る　7月23日、二ツ森小跡地活用、六原・南方幼稚園の現状、防災無線の運用状況について調査。現場に出向き、現場の方々のお話をお聞きすることで、議場では見えなかったさまざまな状況が見えてくる。現場に足を運ぶことの大切さを改めて感じました。(一)

環境改善

団地の側溝整備を

町長 ― 昨年度比1.5倍の予算計上

議員の胸の内

1945年8月9日と10日、米軍機は高谷野原飛行場などの破壊を目的に空襲し、住民5人が犠牲になった。戦争の悲惨さを示す歴史が金ケ崎町にあった。



阿部（あべ） 隆一（りゅういち） 議員

問 一の台・六本松・東町の3団地は、既に解散している町開発公社が整備した。しかし、車がすれ違いできない、大雨で側溝から宅地に雨水が逆流する、隅切りがないので脱輪する、行き止まりが多く除雪が遅れる等の欠陥がある。側溝を改修し蓋をすれば、これらの問題を少しは解決できると考え多くの住民は期待している。予算を大幅に増やして整備を促進すべきである。

町長 今年度予算は団地毎に495万円計上し昨年度の1.5倍とした。来年度以降は、今年度の予算を維持し整備を進める。東町団地の雨水逆流防止のために南側農業用水路への新たな排水路の工事を進める。

平和祈念 折り鶴1万羽

問 「平和国際交流の町宣言」は1996年11月11日に制定。今年は制定30周年である。宣言には「核兵器の廃絶と真の平和実現を推進する」とある。近年の取り組みは如何か。

町長 「日本非核宣言自治体協議会」及び「平和首長会議」に加入し、核兵器廃絶と平和を全世界に呼びかけている。2021年度から町民に平和への祈りを込めた折り鶴作成を呼びかけ、中央生涯教育センターで集約し展示後、広島市に送付し平和記念公園で展示している。今年度は約1万羽集約し多くの町民の協力を得ている。



「核兵器廃絶・平和への祈り」を込めて
町民から寄せられた1万羽の折り鶴とメッセージ

保育料 完全無償化

問 町長が施政方針で述べた保育料完全無償化はすみやかに実施すべきと考える。

教育長 無償化の対象外であった0歳から3歳未満の第1子約80人を対象に今年10月から無償にする。必要経費は月額約250万円である。

クマの捕獲駆除

問 クマの目撃情報が相次いでいる。8月末現在の今年度のクマ目撃件数、捕獲駆除数、被害は如何か。また、定点カメラ設置数、電柵補助件数はいくらか。

町長 目撃は61件、捕獲駆除は13件、農作物被害は10件である。定点カメラは18台設置、電気柵交付決定数は9件2016m分である。

特養ホーム 自宅待機者は

問 特養自宅待機者数は、昨年4月1日現在0である。今年はどうか。

町長 今年の4月1日現在、特養入所申し込み8人中、自宅待機者は1人である。

ひとくちメモ

日本非核宣言自治体協議会

日本国内で非核宣言を実施した自治体間の協力体制を確立することを目的とする会。全国で370以上の自治体が加入。事務局は長崎市。

平和首長会議

世界の8200以上の加盟都市が国境を越えて連帯し、核兵器廃絶への道を切り拓こうと呼びかけている組織。会長は広島市長、副会長は長崎市長ほか19都市。事務局は広島市。

議会トピックス⑭ 人を活かす　7月30日、元農林水産省事務次官だった皆川芳嗣（よしつぐ）氏と金ケ崎町の農業施策についての意見交換会が東京で行われました。氏は若い頃、金ケ崎の農家で約1か月間寝泊まりし、町の農業を学ばれました。これからも町農政の推進に大きな力を発揮してくれそうです。元事務方トップに感謝と期待。(雅)

災害対応

受援体制は

町長―防災計画に定めている


もう崩落しませんように　（永栄仙光地内）

問 災害時の受援体制は明確になっているか。

町長 応援職員のあっせん、受け入れは、災害対策本部内の総務部が担当し、業務内容の説明は、現場担当部署が行う。防災ボランティアは、災害対策本部内の民生部が担当する。実際に、災害ボランティアを受け入れる際は、防災ボランティアセンターを設置し、町社会福祉協議会及び日本赤十字社岩手県支部と受入体制を整えて対応する。

問 仕事が特定の人にしか分からないような、いわゆる属人化になっていないか。

町長 災害時にかかわらず、担当職員の予期せぬ休暇等が発生した際にも、安定した住民サービスを提供するうえで大切であることから、各課において所掌業務に係る事務フローを整備し、担当者不在の場合に円滑な業務遂行ができるよう努めている。

問 町地域防災計画が必要な調整を行う機能として働いているか。バランスがとれる仕組みになっているか。

町長 災害時には、災害対策本部を設置し、災害対策本部長である町長の指示のもと、副本部長である副町長や各課の課長等で組織される各部の部長を中心とした指揮系統により必要な業務にあたるとともに、全体の状況把握を行い、人員配置や役割分担の調整を行う体制を構築している。

問 業務が十分に機能しないことを前提にした体制か。

町長 災害時には、人や物、情報といった利用できる資源に制約があるなかで、災害応急対策業務や災害復旧業務等に加え、通常業務の中でも継続または早期に再開しなければならない。これを踏まえ、令和7年9月に「金ケ崎町業務継続計画（災害時版）」を策定し、大規模災害発生時にあっても、適切な業務執行を行うために、「職員の参集体制」や「電気、水、食料等の確保状況」「非常時に優先すべき業務内容」等について取りまとめ、災害時においても、町民の生命と健康を守り、町民の生活に不可欠なサービスを継続するための体制を整えている。


平　志乃（たいら　しの）議員

議員の胸の内
最近世界中で起こっている災害は天変地異かなぁ。

ひとくちメモ
受援体制
大規模災害時に他の自治体やボランティア等から提供される人的・物的な支援を、被災自治体が受け入れて活用するために整える庁内の体制。

平和への願い　8月5日、中央生涯教育センターで、戦没者追悼式が行われました。戦争で多くの尊い命が失われた重みを改めて感じました。今ある平和は、多くの犠牲の上に築かれたものであり、その尊さを忘れず次の世代に伝えていくことが大切だと思いました。(秋)

選ばれる町

ブランディングによる価値向上を

町長 ―環境づくりを検討

議員の胸の内
後継者不足、少子化の時代、今ある資源を活かし、官民連携で稼げる金ケ崎を。

問 「金ケ崎ブランド」を推進、創設する考えは。

町長 地域ブランディングの根幹は、情緒的付加価値を元に構築することであり、人口減少や少子高齢化が進展する中、「金ケ崎ブランド」の創設・推進は今後の課題と認識している。

問 現在の商品開発支援を開発から販売まで一体的に支援する考えは。

町長 初期段階として機運を形にするための仕掛けや環境づくりの面で行政がどのような役割を担い、関与していくべきか調査・検討を進める必要がある。

問 「金ケ崎ブランド推進協議会」のような会をつくる必要性や考えは。

町長 町民の皆様をはじめ、農商工業関係者、企業等が連携して取り組むことにより、当事者意識を生み、町全体で愛着を持つブランドとして発展させる一環として設立も有効な手段である。

問 ふるさと応援寄附を活用したブランドの育成と販路開拓につなげる考えは。

町長 寄附をきっかけに金ケ崎を知り、そこから町内産農産物及び加工品に興味をもっていただく形で販路開拓につなげたい。


ふるさと応援寄附をいただいた皆様から

問 新たな返礼品の検討、開発の考えは。

町長 地場産品を組み合わせた返礼品の扱いも可能だが、多数の返礼品の中から金ケ崎を認知してもらえるのか地域ブランドの調査・検討とあわせて進める必要がある。

健幸増進計画の実現

問 今回健幸ポイントの見直しで対象を40歳以上とした理由と成果目標は。

町長 生活習慣病の芽が出始める40歳以上に軸足を置き、生活習慣病の発症、重症化を予防し、健康寿命を延伸させ、医療費や介護給付費の抑制につなげたい。

問 町内にある公園を健康づくりの場として整備する考えは。

町長 健康づくりは生涯スポーツセンターや健康づくり事業を活用し、健康遊具においては安全性、維持管理等の面で課題があり、現時点で設置する考えはない。

問 みどりの郷を屋内スポーツ・健康づくりの拠点としての再生は。

町長 当施設の活用においては民間主導による整備・誘致を期待しており、現段階では現施設を屋内スポーツ等に再生することは可能性の一つと考えている。


健康づくりに欠かせない公園


菅原　政憲（すがわら　まさのり）議員

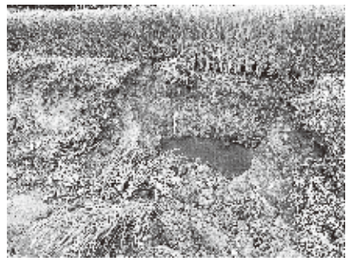
ひとくちメモ
金ケ崎町へのふるさと応援寄附
この制度は、平成20年から始まり、初年度は4件、約22万円でしたが、令和7年度は2万7759件、約4億1631万円となりました。

えっ　そうだったんだ！　8月5日、岩手県自治会館で第57回岩手県町村議会夏季議員大学講座がありました。いつもこの講座では実際に今起きている話題をテーマにしていて興味深いものでした。今回の突然の衆議院の解散総選挙は幹事長も相談されなかったと聞き、驚きました。(権)

災害対応

被害案件ごとに協議・相談

町長 ―復旧に向け対応



今回の大雨対応を検証し
備えの強化を



問 被害報告、相談の取りまとめの状況と被害相談等の体制はどうなっているのか。

町長 8月5日、取りまとめた被害状況は、床下浸水や道路陥没、断水など87件の被害を確認した。対策本部廃止以降は、各担当課で受付、相談を行っている。被害案件ごとに復旧に向けた対応を協議・相談して進めている。

問 地球温暖化等の影響により大雨発生頻度の増加に伴う土砂災害の増加傾向を踏まえた対応策をどのように講じていくのか。

町長 金ケ崎町地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素排出量の削減目標を定め、地球温暖化対策に町民、事業者、町の3者で取り組みを進めている。

また、機会を捉えて、自主防災組織や住民に対して、事前の備えの必要性を伝えているほか「かねがさきinfo」の機能等を活用し、警戒区域の住民に自動音声で危険警報が発表され、危険が迫っている場合に避難行動を呼びかけている。

問 生産資材や農業機械等の価格高騰のほか、不透明な米価など、水田農業経営を取り巻く現状への認識と対策・支援については。

町長 近年の燃料・肥料・農業機械等の生産資材の価格高騰は、農業経営のコスト増大を招き、農業者の大きな負担となっていると認識している。町では、これまで交付金の支給や飼料購入費への補助など経営継続に向けた支援を行ってきた。今年度も、9月補正予算で農業機械の導入についてお諮りする。今後も、農業情勢を注視しながら農業者の経営安定に向けた対策を図っていきたい。

問 地域計画における現状の課題と認識、関係機関との連携についてはいかがか。

町長 各地域計画の共通課題は、農業者の高齢化や減少、後継者不足、少ない担い手でも効率的に営農できる生産基盤の整備や新技術の導入が求められていると認識している。地域計画は毎年度見直しを行うので、県の農村整備室や農業改良普及センター、農協、土地改良区など関係機関と連携しながら課題に対応していく。

議員の胸の内

大雨の頻度と危険性が増す中、避難場所や備え、避難行動の確認を。



榊 秋光（さかき あきみつ） 議員

ひとくちメモ

金ケ崎町が警戒レベル4避難指示を発令した場合

危険な場所にいる人が、全員避難する段階。避難所へ行ける状況なら速やかに避難する。

外へ出る方が危険なときは、近くの安全な場所や建物の高い場所へ移動する。

議会トピックス⑰ どちらの思いも… 8月9日、「議会ほっとミーティング」を開催しました。今回は、六原幼稚園の閉園について、教育委員会の再編計画や、子どもたちの成長を願う保護者の思いを伺いました。地域の幼児教育のこれからについて、率直な意見を交わしました。(由)

災害対策

望ましい避難行動とは

町長 ―難を避けることである

議員の胸の内

バイアス（歪んだ認知）の回避には、日頃の準備と訓練が必須になります。平時こそ備えを！



高橋（たかはし） 藤宗（ふじむね） 議員

問 本町においては、8月1日から2日にかけて大雨による災害が発生し、町からはレベル3高齢者等避難が発令された。今年の5月29日から運用が始まった「新たな防災気象情報」は、5段階で警戒レベルを示すものであるが、まだまだ理解がされていないように感じた。町民に周知を図るべきではないか。

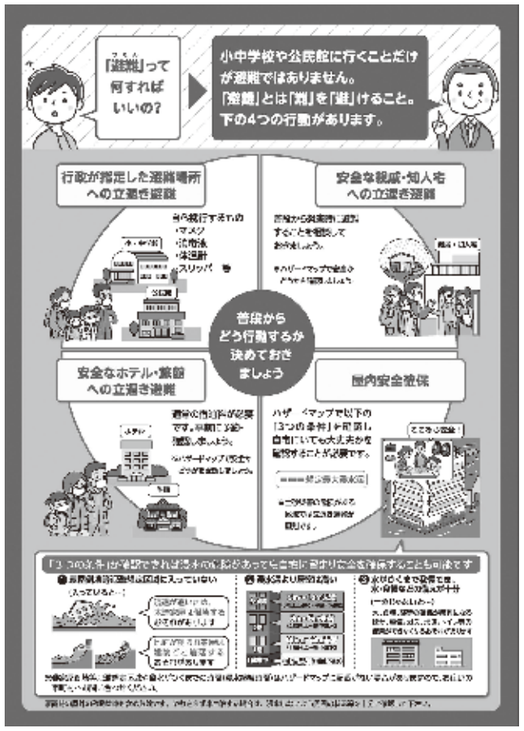
町長 レベルの数字のみに着目し、町からの避難情報なのか、気象庁発表のレベルなのか、勘違いしてしまっている面もあると考えている。このため、防災気象情報の正確な周知が必要であると考え、今年度の防災セミナーや、9月号の広報かねがさきで改めて周知を図る。

問 「避難＝避難所へ移動すること」と捉えている町民が多く見られた。間違ってはいないが、唯一の方法ではない。望ましい避難行動とは。

町長 避難とは難を避けることである。例えば避難所に行く道路が冠水しているなど危険を伴う場合は、避難所への移動が危険な行動になる場合がある。避難先は町が指定する避難所だけではなく、知人や親類の家、ホテルなども含まれ、「安全な場所」が避難先になる。また、安全な場所にいる場合は避難をする必要はないので、警報等が発表になった際に自分のいる場所のリスクを確認することが大切である。

問 250人超の死者を出した西日本豪雨では、正常性バイアスにより「逃げない住民」の存在が問題となった。安全確保のための情報や災害リスクを町民に伝え、命を守るためにどのように行動を起こさせるか。

町長 災害時の行動の基本は自助である。その上で共助として地域住民が助け合い、カバーできない部分は公助として行政が支援する。町は自助を高めるため「かねがさきinfo」や出前講座などで情報を届け、共助においては自主防災組織の支援、育成をしている。地域には避難に支援が必要な方など、顔の見える関係性があるため、避難の際に声がけをし、一緒に避難することで正常性バイアスによる逃げ遅れを回避し、命を守る行動につながっていくものと考えている。



避難行動は自分の命を守るため
空振りだっていいじゃない

ひとくちメモ

正常性バイアス

異常な事態に直面した時「自分は大丈夫」「大したことない」と危険を過小評価し、心を平穏に保とうとする心理メカニズム。

議会トピックス⑱ 「大波」旋風を 8月12日、大相撲奥州場所がZアリーナで開かれ、迫力ある取組みに圧倒されました。何といっても地元出身力士「漣（さざなみ）」への大声援が一番でした。四股名は漣でも、早く幕下いや十両、幕内で「大波」を立てて欲しいものです。「一年を20日で暮らすよい男」タノムヨー。（雅）

クマ対策

誘引果樹対策の支援制度は

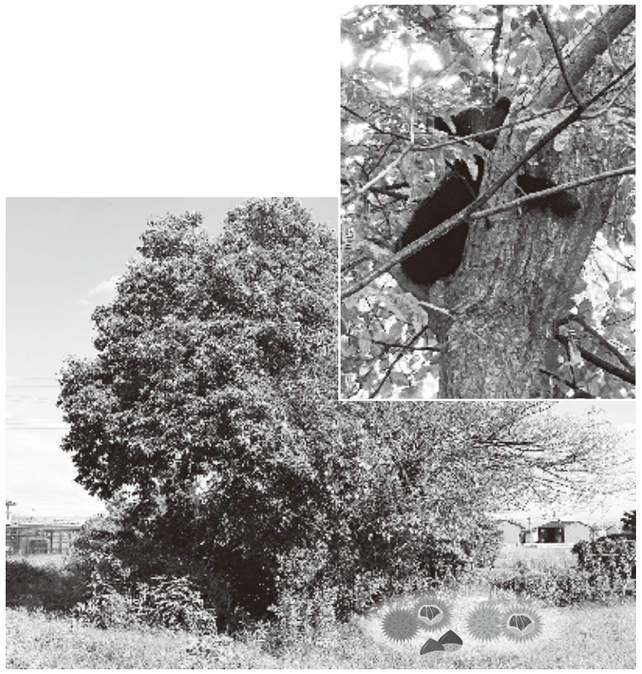
町長 ―予防型対策で検討

議員の胸の内

町民が対応することが困難な誘引果樹について伐採等の助成制度を検討して欲しい。



原（はら）　由美子（ゆみこ）議員



切りたい　でも切れない　安全対策の重みが　すべて個人の肩にのしかかる

問 町における誘引果樹の現状認識および現在のクマ対策は。

町長 柿、栗、クルミなどの果樹は、クマを人の生活圏に誘引する原因の一つと考えている。相談を受けた際には果樹の所有者や管理者に対し、早期収穫や適正管理の徹底をお願いするとともに町の広報誌やホームページ等を活用し、周知・啓発を図っている。

問 誘引果樹の伐採費用への助成は。

町長 現時点では支援制度を創設する考えはない。

問 これまでの捕獲・追い払いなどの対応型対策もあるが、誘引物の除去や果樹管理などを含めた「予防型対策」については。

町長 実効性のある対策の検討を進める。

利便性を高める窓口サービス

問 書かない・行かない・待たない窓口の導入への考えは。（※メモ参照）

町長 各種申請をオンライン上で行う電子申請サービスの導入が必要であると認識している。具体的には、デジタル化の推進と同時に、操作に不安を抱える利用者への対面での支援体制の充実、丁寧なコミュニケーションによる既存の対面型サービスの併用維持など、すべての町民の皆さまが安心して利用できる環境整備が重要と考えている。

読書環境の充実

問 子ども読書活動の成果の把握は。

教育長 教育保育施設の現場では「本に触れる機会が増えた」「読書に対する関心が高まっている」との具体的な報告がある。

問 デジタル時代において子どもが本を手に取りじっくり読む時間を確保することについてどう考えているか。

教育長 各種事業を通じて乳幼児期から高校生までの各段階に応じた「紙媒体の本に触れる環境づくり」をさらに充実させていくことが必要と考えている。

ひとくちメモ

書かない・行かない・待たない窓口

①書かない窓口…窓口で住所・氏名などを何度も書かなくてよい仕組み
②行かない窓口…スマホ・パソコンからオンライン申請できる仕組み
③待たない窓口…予約や事前申請で待ち時間を減らす仕組み

議会トピックス⑲ **繋がり身近で実感**　8月17日、岩手県と当町の政策協議（市町村要望）が奥州市で行われました。議会からは議長、副議長、常任委員長（2名）が出席しました。重点要望の「国道4号4車線拡幅整備」他3件（継続）、「ツキノワグマの被害対策」1件（新規）を含む12件について要望しました。お金と時間が掛かりますが、全ての実現を願い会場を後にしました。（典）

新工業団地開発

南エリア(44ha)の進捗状況

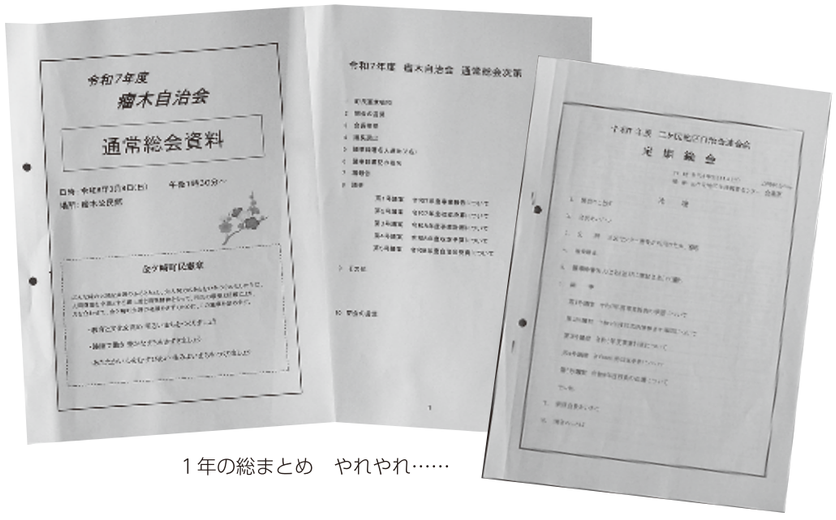
町長 ―測量や環境調査を実施中

議員の胸の内

自治会活動は悲喜こもごも、1年1年の積み重ねですね。これからも、仲間達とともに、それなりに取り組みましょう。



佐藤（さとう）　千幸（ちゆき）議員



1年の総まとめ　やれやれ……

問 大規模開発は土地利用の調整が大きなヤマと言われている。進捗状況は。

町長 「土地利用調整計画」及び「地域経済牽引事業計画」の岩手県同意等については、進出企業による具体的な施設配置、投資規模等と連動させ、一体並行的に手続きを進める。

現在は、測量や概略設計などの基礎調査結果をもとに、事前調整を進めている。また、県及びパートナー企業である東急不動産、平野組と連携して企業誘致に取り組んでいる。

問 農地転用許可の申請者と申請時期は。

町長 許可申請は、所有者と開発事業者が行う。申請時期は、令和10年春頃を予定している。

問 分譲開始時期は。

町長 令和12年度を目標にしている。

企業の内定が全体の進度を左右する。誘致に全力を尽くす。

役場と自治会

問 自治会にどのような役割を期待しているか。

町長 ①災害に備えた訓練や防犯灯の管理、住民が安心して暮らせるよう見守り活動を通じた支え合いなど
②きれいで住みやすいまちを維持するため、ゴミステーションの管理や環境美化活動
③地域のつながりをより強くするため、イベント等を通じて親睦を図ること
等を期待している。

問 自治会の持続的活動のために、どのような施策を進めているか。

町長 地域づくり協働補助金、地区センターによる活動支援、公民館建設補助などを行っている。

問 自治会費の半分以上を占める町関係団体への会費、自治会への未加入世帯の増加、配布物の種類の多さ、等々、課題が山積している。

具体的な課題に向き合うべきだ。

中央生涯教育センター所長 先進的に取り組んでいる自治体の情報等を参考にしながら、自治会長連絡協議会と一緒になって取り組んでいく。

問 自治会に加入しない方もいる。自治会の存在意義、活動の内容などを「条例」によって明らかにし、自治会加入を促すべきだ。

中央生涯教育センター所長 他市町村の状況を参考にし自治会と相談しながら検討していきたい。

ひとくちメモ

自治会条例

安全で安心、そして心地よい地域づくりのために、加入の勧めと自治会の役割を明示する条例。

議会トピックス⑳ **折れた横軸**　8月19日、おそらく日本一長い名前の期成同盟会ではないでしょうか「東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間整備促進期成同盟会」の総会が開かれました。ややもすれば鉄道や道路は、時の政治力によってルートが決まる例は少なくありません。現在の花巻～江刺田瀬ルート、決めたのはだあれ？（雅）

小学校再編

まずは再編議論を始めては

教育長 ― 時間をかけていい方向へ

議員の胸の内

今回の混乱は、小学校再編でも繰り返される予感がしますので、早めに議論を始めて、混乱を最小限に抑えたいと思います。



及川（おいかわ）　権一（けんいち）議員

ひとくちメモ

配慮が必要な園児

全国調査（2024年）によると、特別支援を要する子ども8.2%、診断のある子ども3%とされている。年齢別にみると4歳児2.2%が一番多く、これは集団生活の中で個々の特性が顕著に現われる時期であるためと考えられている。

六原幼稚園閉園

問 今回、六原幼稚園閉園の素案が示され大変残念だ。朝夕の預かり等、打開策はなかったのか。

教育長 早朝預かりは認定こども園南方幼稚園に集約し、他の幼稚園では実施しないこととしている。

問 受け入れ先となる、南方幼稚園の整備は進んでいるのか。

教育長 園児数が令和5年以降減少傾向にあり、駐車場の問題は限定的だ。幼稚園は基本的に、他の園児と一緒に過ごすことで成長していく施設である。配慮が必要な園児は、既存のスペースの中で工夫している。

小学校の再編

問 今回の混乱をみていると、将来の小学校再編が心配だが検討した結果はいかがか。

教育長 学校の形態や規模、配置などについて先進地視察や調査研究を進めてきたが結論に至ってはいない。行政としてもいろいろな角度から検討している。

町長

問 小学校再編について議論の口火を切るのは教育委員会だと思うがいかがか。

教育長 ある程度時間をかけて、いい方向にもっていきたい。



いつまで古い学校のままなの……　金ケ崎小学校

南方センター グラウンド整備

問 なかなか進まなかったグラウンドの整備が、完了したのは承知しているが、あれで完了なのか。

教育長 南方地区自治会連合会前の駐車スペースは体育館利用者や災害時にも駐車場として活用するため、砂利は取らずに現状のままにしてほしいとのことだった。

町長 現地を確認した状況は、グラウンドとしての成形もできていないし、東西の高低差も気になる。さらに石が混じっている様なのでこれで終わりではないと考えている。利用について、従来通りだけではなく今後の利用も議論いただきたいと思っている。

金ケ崎高校 統合後の活用

問 統合後、空き校舎に通信制や定時制の高校が入る予定だが、町としてどうかかわっていくのか。

教育長 金ケ崎町の中学生の進路の一つとして重要なので、支援について検討していきたい。

町長 県教育委員会と連携を密にし、しっかり支援していきたい。

六原幼稚園

閉園を延期してみては

教育長 ― 慎重に検討を重ねていく

議員の胸の内

議会ほっとミーティングや議会への請願書提出など、六原幼ＰＴＡの閉園延期活動に感銘。



後藤（ごとう）　紳一（しんいち）議員

問 幼稚園の廃止は、法律では教育委員会という組織が決定することになっている。教育委員の全員が賛成されたのか。

教育長 4人の教育委員から、「進め方が拙速ではないか」「地域としっかり話し合い、1年延ばす方法もあるのではないか」との意見があった。前年度から要望をいただく中で、それを加味した進め方が不十分だったという反省点はある。委員の意見も踏まえ、閉園時期について改めて慎重に検討を重ねていく。

問 町立幼稚園再編計画には「環境が目まぐるしく変化していることから、見直しを図ります」と記述されているが、見直した内容は。

教育長 恒常的に異年齢学級が解消されなかったため、計画の変更は行っていない。

問 6月22日に地域説明し来年度末閉園は唐突すぎる。異年齢学級が始まったのは今年度からである。時間をかけて協議を進めるべきである。

教育長 保護者からは閉園時期を1年延長してほしいと申し入れがあった。改めて慎重に検討を重ねていく必要がある。

問 特別な支援を要する園児は何人か。支援のための先生は何人か。

教育長 支援を要する園児やそれ以外の園児という区分は行っていない。一人ひとりの発達に応じたサポート体制は整えている。六原幼稚園には保育補助2人、南方幼稚園には保育補助13人を配置、状況に応じて担任外の教諭のサポート体制をとっている。



子どもの姿は　未来の希望

問 説明会や意見交換会で出された内容で、考慮されたものはあるか。

教育長 様々な意見を頂いたので、具体的にどのようなことを考慮できるか検討している。

問 特色ある取り組みとして六原鬼剣舞がある。産直ろくちゃんや農業大学校のイベント、文化祭や学習発表会で披露、介護施設も訪問。これらの心配もあり、延長の見直しはないか。

教育長 郷土芸能の継承のみを理由に、延長することは難しい。地元保存会と協議しながら検討したい。

問 特別な配慮が必要な幼児が、保健師さんの助言で地区外から六原幼稚園に入園、そのような幼児の施設として整備できないか。

教育長 今の段階でそのような施設整備は考えていない。

ひとくちメモ

町立幼稚園再編計画

平成30年度に、今後の就学前教育・保育の環境整備の進め方を定めた。これに基づいて永岡幼稚園は令和3年度末に、三ケ尻幼稚園は令和6年度末に閉園し、認定こども園南方幼稚園に統合した。

保護者の願い
閉園時期の再考を

8月9日、北部地区生涯教育センターを会場に、六原幼稚園PTAとの議会ほっとミーティングが開催され、議員を含め16人が出席しました。今後の六原幼稚園の再編について、さまざまな意見や要望が出されました。議会では、当日の意見を取りまとめ、9月14日町側へ提出しました。

議会が町と教委へ要望



町民の願いを届ける議長





出席者から出された主な意見や感想

○六原幼稚園の閉園の事を5月29日に新聞報道で知りました。6月22日の教育委員会による説明会で再編計画を知らされました。令和9年度末から閉園という事でした。見直しを要望しました。

○7月13日の六原幼稚園PTAと教育委員会との意見交換会では要望が反映されておりませんでした。現場や当事者と町には開きがあると感じました。

○六原幼稚園では、六原鬼剣舞を練習し、地域での披露を続けて地域連携に貢献しているほか、後継者育成という役目も果たしています。

○幼児教育という面でも小規模の特性を活かして特色ある教育を行っていると感じている。

その後の町の動き

9月16日、9月議会終了後に、議員全員協議会が開かれ、金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進についての説明がありました。

具体的な内容としては、六原幼稚園の閉園に係る今後の対応についてであり、結論は「六原幼稚園閉園は1年延期する」という内容でした。

～・～・～［主な内容］～・～・～

○六原幼稚園の閉園を令和9年度末から令和10年度末に変更する（現3歳児の卒園を行ってから閉園する）。
○9年度の新入園児の募集は行わないから募集を行うに変更する。
○閉園後は南方幼稚園に統合する。
○11年度転園する園児には、園児服等購入補助を行う。
○通園バスを運行する。

議会トピックス㉓ **全国から集まった**　8月28日、渋谷公会堂で町村議会広報研修会が、全国から約900名の議会広報委員が参集して行われました。住民に伝わる議会だよりをつくり、議会を身近に感じてもらうために読みやすく、わかりやすく住民に届けるため、紙面づくりや見出し、写真、編集の工夫を学びましたが、良いと思った紙面づくりや見出しなど大いに参考することも秘訣とか。（秋）

三つの請願を採択

件名		請願者	紹介議員	議決結果
請願第3号	小規模農家への農業機械購入補助を求める請願書	金ケ崎町永沢寺網3 下永沢農事実行組合協議会代表 高橋　満 金ケ崎町永沢横沢22-1 横沢農事実行組合長 菊地幸紀 金ケ崎町永沢上野中23 中央振興農事実行組合長 石川　淳 金ケ崎町永沢南躍子15 中組農事実行組合長 伊藤　宏 金ケ崎町永沢清水31-5 黒沢農事実行組合長 伊藤辰男	阿部一之	採択
請願第4号	岩手県立金ケ崎高等学校校舎の活用による教育機能および国際交流拠点整備に関する請願	金ケ崎町西根西地蔵野69番地5 金ケ崎未来教育を考える会 代表　小野寺紳	及川権一	採択
請願第5号	金ケ崎町立幼稚園再編計画推進のスケジュール延長および再検討を求める請願書	金ケ崎町六原堂所森道下52-39 金ケ崎町立六原幼稚園PTA 会長　藤原亘	高橋美輝夫 原由美子 後藤紳一	採択

請願への賛否の状況

○：賛成　×：反対　欠：欠席
※議長は採決に加わりません

請願番号	議決結果		菅原政憲	榊秋光	原由美子	阿部一之	平志乃	及川権一	千田眞一	後藤紳一	高橋藤宗	阿部典子	千葉良作	阿部隆一	佐藤千幸	山路正悟	高橋美輝夫	伊藤雅章
請願第3号	原案に対し	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
請願第4号	原案に対し	採択	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	※
請願第5号	原案に対し	採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

その後の対応

【請願第3号・第5号】請願第3号・第5号は、地方自治法第125条の規定により町長（第5号は町長と教育長）に送付し、処理の経過と結果の報告を求めています。第5号については、町教育委員会が閉園時期を令和10年度末に延期する方針を示しました（24ページ参照）。

【請願第4号】請願第4号の採択を受け、議会は「岩手県立金ケ崎高等学校校舎の活用による教育機能及び国際交流拠点整備に関する意見書」を賛成多数（賛成13・反対2）で可決し、岩手県知事と岩手県教育委員会に提出しました。

討論

請願第5号

賛成　原由美子　議員



六原幼稚園の再編計画について、現在在園する子どもたちが安心して卒園できるよう、閉園時期を少なくとも1年間延長し、その時間を活用して、子どもたちの教育環境や地域の声を踏まえ、再編計画を改めて検討することを求め賛成する。

請願第5号

反対　阿部一之　議員



請願の全てに反対するものではないが、「存続を含めた再検討」の項目には反対である。町内の幼稚園は既に4園が閉園しており、六原幼稚園だけを特別視し、感情論で議論するのではなく、町全体を考えて公平に、客観的に進めるべきである。

議会トピックス㉔ **おなごパワー**　8月30日、細野地区の秋祭りに招かれ出席しました。敬老会も一緒に行われる伝統の祭り。戦争に行った村の男衆に代わって始まった「おなご剣舞」が、このところ披露されないのはちょっと残念ですが、ぜひまた復活を願う気持ちは皆同じ。細野の大地を踏みしめながら躍動するオナゴの姿を再び。（雅）

産業建設常任委員会

7/1 主要事業の促進を

1　岩手中部工業団地北側エリアにおける企業誘致の進捗状況

当該地は電気・水道・道路などの立地条件が整っており、その強みを活かしつつ、時代が求める需要を把握しながら柔軟かつ早期に売り込みを図られ、同時に商品価値を損なうことのないよう、引き続き環境整備に配慮されたい。

2　三ケ尻地区圃場整備事業の進捗状況

事業予定区域内には相続登記未了の土地が127筆あり、岩手県事業担当部局から地元に早期の処理が求められている。相続登記は関係地権者の自己責任ではあるが、町は相続登記の促進のため、地元促進委員会、土地改良区を支援されたい。

3　町道野田・前野線整備の進捗状況

今年度の事業は、都市計画道路「中江甫鶴ケ丘線」から町道「一ツ屋・野田線」までの220mにおける測量設計等である。周辺の開発動向と交通量の増加に対応し、先取りした道路整備を進められたい。

4　クマ対策に係る電気柵設置状況

電気柵はクマをはじめ野生動物の侵入を防ぐための有効な手段であるが、対象動物に合わせた使用方法や維持管理が必要なことに対する周知を図られたい。人里にクマを寄せつけない環境づくり対策について、町民に情報の周知を図り、今年度実施しているクマ動向調査の結果をもとに対策を講じられたい。



三ケ尻地区圃場整備事業の調査

総務教育民生常任委員会

7/23 住民への丁寧な説明を

1　旧二ツ森小学校跡地の管理状況及び今後の対応

校舎等は令和３年度の施設劣化調査で躯体強度の低下等が指摘され、今年度体育館を除いて解体される。

解体に当たっては、アスベスト等の有害物質への対策を徹底し近隣住民の安全確保を、そして残存する体育館については安全性に十分配慮した管理に努められたい。また学校敷地内及び隣接地には個人所有地や筆界未定地が含まれるが、協力を得ながら早期の整理に努められたい。

2　六原幼稚園及び認定こども園南方幼稚園の現状

両園には支援を必要とする園児が複数在籍しており、南方幼稚園では施設の修繕、駐車場及び保育室の確保、職員配置など、受入体制上の課題が確認された。幼稚園再編に当たっては、保護者及び地域に対して丁寧に説明するとともに、意見交換の場を十分に設け、その理解を得ながら進められたい。

また、支援が必要な園児への対応や駐車場対策等を具体的に示し、朝の受入時間の柔軟化も検討されたい。

3　防災無線の運用状況

現在の町防災無線は令和11年5月をもって終了する予定であり、一斉放送の代替として町公式アプリ（かねがさきInfo）の活用等を検討している。町公式アプリ、防災ラジオ、テレビ等を組み合わせ、携帯電話を所有していない高齢者等にも配慮しながら、災害情報を可能な限り確実に伝達できる体制を整備し、利用方法を住民に十分周知されたい。



旧二ツ森小学校体育館の調査

※所管事務調査とは　常任委員会が、その部門に属する当該地方公共団体事務を調査しています。

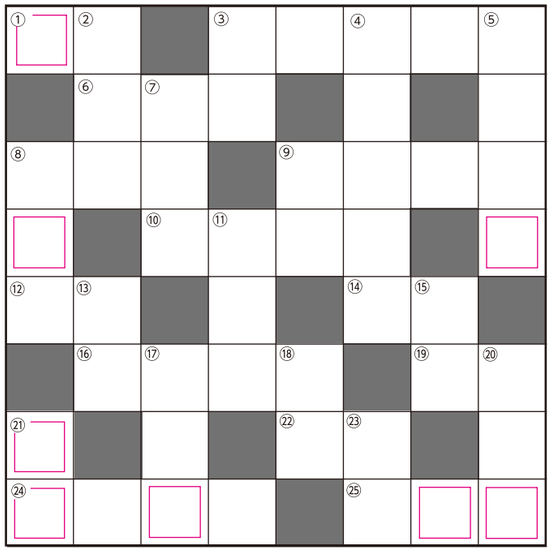
議会トピックス㉕　**継続は大きな力になる**　９月６日、町内唯一昨年復活した永岡地区敬老会が今年も中央センターで開催。昨年にも増して、スタッフの動きもスムーズで太鼓や歌、踊りなどの出し物もパワーアップ。敬老の御祝を受けられた138名の招待者の皆さんの笑顔がとても印象的でした。(一)



クロスワードパズル

□の８文字を並べかえると、答えになります。

ヒント：老いることなく
健康で長生きしたいですね



■ヨコのカギ

① 弘法も○○の誤り
③ イヌ科の哺乳類
主に北海道に生息
⑥ 永世中立国
⑧ 金ケ崎産のコンパクトカー
⑨ 歩いた跡に残る足の形
⑩ 男も女も　人生も
⑫ ○○貴　○○嫁　○○弟子
⑭ 今年のえとは?
⑯ 石灰質の粉　砂やじゃりに
混ぜます
⑲ ○○に小判
㉒ 桜とともに　日本人に
最も親しまれている花
㉔ 蓄えた知識
㉕ 1分は60○○○

■タテのカギ

② 机
③ 魚偏に喜ぶと書いて
④ 江戸時代奉行といえば
遠山の○○○○○
⑤ 日本で考案されたマグロを
生で食べる調理法
⑦ 武道のひとつ
⑧ 世界最大の大陸地域
⑨ ○○　LOVE　YOU
⑪「考える」人は　○○○の作
⑬ ○○金　○○首　○○札
⑮ もの○○ サル○○ 泣き○○
⑰ 主役はひき肉　○○○カツ
⑱ 新潟県の鳥
⑳ ねずみ○○○次郎吉
㉑ ○○人　○○情　○○好
㉓ ○○輪 ○○投げ ○○飾り

（出題:バッチ組）

こたえ　フ　　ユ

★正解者の中から、抽選で５人の方に図書カードをプレゼントいたします！

前号の答え

イキケンコウ（意気軒昂）

①ナ	フ	②サ		③ス	④ギ	ナ	⑤ミ
マ		⑥ク	⑦マ		タ		ケ
⑧エ	⑨キ		⑩ス	⑪チ	ー	⑫ム	
	⑬ジ	⑭カ		イ		⑮ダ	⑯ウ
⑰ア		⑱キ	⑲タ	キ	⑳リ		ド
㉑キ	ッ	ッ	キ		㉒ク	㉓シ	ン
ラ		バ		㉖シ	ッ	タ	
㉕メ	ン	タ	イ	コ		㉖ギ	リ

議会だより159号掲載のクイズに、たくさんのご応募ありがとうございました。厳正なる抽選のうえ、５人の方に図書カード（1,000円分）をお送りしました。



読者の声（抜粋）

◆◆議会トピックス、かかさず読んでいます。続けてください。（81歳　男性）
◆最後の「次号のお知らせ」、凄く助かります。毎月発行ではないので、この案内がないと、次号がいつか忘れます。ちょっとした気配り感謝しております。今後も応援しております。（48歳　女性）
◆これまで当たり前のように受けていたサービスをこれから先も続けていけるのか、金ケ崎だけではなく全国に通じる問題だと考える。（80歳　男性）
◆地域医療を議題にされていたことが特に印象に残りました。公費には限りがあり、医療費を抑制した、治す医療から支える医療制度への転換が、現在求められていると思います。（36歳　男性）
◆具合が悪い時に、水沢まで行くのは大変です。すぐに検査してくれる体制があると助かります。（37歳　男性）
◆金ケ崎駅にも、カフェが出来たらいいと思います。（59歳　女性）

応募方法　いずれかの方法でご応募ください。

はがき➡ 〒029-4592
岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南町22番地1
金ケ崎町役場　議会事務局

ＦＡＸ➡ 0197-42-2103

メール➡ gikai@town.kanegasaki.iwate.jp

★応募内容
①クイズのこたえ
②郵便番号・住所
③氏名・年齢・性別
④電話番号
⑤「議会だより」についての感想・ご意見

ぜひお願いします

★応募締切　令和8年11月20日（金）到着分
★正解発表　議会だより161号に掲載

プレゼントの発送は令和8年12月予定。直送いたします。

応募時に頂きました個人情報等は、厳正な管理下におきまして⑤の取りまとめと賞品の発送のみに利用させていただきます。

議会トピックス㉖　**市より町村**　9月8日、今年で64回目を数える県内町村議会議長と岩手県知事との懇談会が、盛岡市の県自治会館で開催されました。県南地区を代表し、金ケ崎町からは農業用水の確保への財政支援と農地基盤整備事業の加速化を訴えました。知事からは「町村こそが岩手が岩手たるゆえん」との熱い思いも。リーダーはこうでなくちゃ。(雅)

ぴかっとひかる 人 シリーズ90



受け継いだ豆腐作りを息子へつなぐ

岩野育男さん

（北部地区）

豆腐作りは、祖父母の代から続いています。昔は石臼を使い、自分たちで食べるものを自分たちで作る、自給自足の暮らしの中で豆腐を作っていました。

妻の悦子が嫁いできたのは、東北新幹線が開業した1982年。それから44年になりますが、祖父母の代から遡ると、豆腐作りは60年ほど続いていることになります。「自分たちが食べたいから作る」そんな気持ちで、今も夫婦で豆腐を作っています。

農業に地域の役員と忙しい毎日ですが、趣味の釣りやバスツアーでの小旅行など、夫婦の時間も楽しんでいます。これからも無理をせず楽しみながら、昔から続く豆腐作りと農業、地域とのつながりを大切にしていきたい。

そして、息子の代へつなぐまでは、二人で頑張りたいね。











楽しいから続けていける　豆腐作りも　趣味も

表紙の写真によせて

＊ご両親からのメッセージ

今年で3歳になった2人。私たちの初めての育児は双子でした。3時間おきのミルクも寝かしつけも別々で、やっと1人が寝たと思えば、もう1人の時間。寝不足で大変な日々も、振り返ればそれ以上に楽しく幸せで、すべてがかけがえのない思い出です。

1人で歩き、ご飯を食べ、少しずつ手が離れていくことに寂しさも感じます。でも2人で手を繋ぎ、助け合い、時には喧嘩をしてもすぐ仲直りして笑い合う姿は私たちの宝物です。

これからもずっと仲良く、人に優しく、たくさんの人を笑顔にできる2人でいてね。生まれてきてくれてありがとう。

（菊地　智己・夏央）

＊秋晴れの公園、幸せ家族登場です！

今号の表紙を飾るのは、街地区の菊地晃成くん美寿ちゃん。男の子と女の子の双子ちゃんです。

雨の日が続いて撮影も心配でしたが、この日は絶好の撮影日和でした。カメラに戸惑う子どもたちに、ご両親は自然な笑顔で接していて、こちらもつい笑顔になりました。（写真担当　及川　権一）



近くを飛んでいたトンボを見つけた時のイイ笑顔（荒巻公園）

編集後記

▼今回の広報は、昨年度の施策や税金の使途について検証する大事な決算審査の質疑事項を中心に通常より頁数を増やして製作しました。長雨で稲刈りが遅れる中、議会が終わったとたん好天候に。しかし、10月には何とか発行したく稲刈りを我慢して編集作業に頑張りました。（阿部　一之）

▼決算審査を通じ、町が日々の生活を支えるために、実に多くの事業を行っていることに驚かされました。その一つ一つに予算と職員の努力が込められており、町民の暮らしにどう結び付いているのかを考える機会でもありました。今号では、その一端をお伝えしています。（榊　秋光）

議会広報常任委員会 私たちが編集しました

議　長　伊藤　雅章（発行責任者）
委員長　原　由美子（統括・企画）
副委員長　阿部　典子（議案審議）
委　員　千葉　良作（一般質問・他）
高橋　藤宗（決算審査）
及川　権一（写真・他）
阿部　一之（企画・請願・他）
榊　秋光（企画・他）

次号のお知らせ

次号（第161号）は、令和9年1月発行予定です。内容は、12月議会定例会の議論を中心にお伝えいたします。

議会だより かねがさき
第160号
発行／岩手県金ケ崎町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／（有）北胆印刷

住所／〒029-4592　岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南町22-1
TEL 0197(42)2111　FAX 0197(42)2103
ホームページアドレス　https://www.town.kanegasaki.iwate.jp/gikai/